

令和7年6月10日～12日

鳥羽市議会会議

一般質問通告者一覧表

発言通告者	議席番号	3 番	氏 名	世 古 雅 人
件名及び 要 旨	○ 市長が掲げた選挙公約の構想と取り組みについて 市長は、先の選挙において「鳥羽 未来への約束」として4つの柱を選挙公約として掲げ立候補し、市民の支持を得て当選した。その公約にはこれまで解決が難しく進まなかった案件のほか多額の財源、時間がかかるものも多くあると思われるが、その困難な問題や教育長時代から市政運営に関わってきた中で手がけたい事業を示したものだと思う。 今後の鳥羽市発展に向けての事業や市民生活向上のための事業を掲げているが、早期に実現出来るものとそうでないものもあると思われる。 現在の市長の事業に対する構想や取り組み内容、事業実施に要する財源、優先順位等をどう考えているのか、以下の点について問う。 ① 「みなとまち再生」について ② 「若者世帯の定住」について ③ 「災害から鳥羽を守る」について ④ 市政運営における財源確保について <市長及び担当課長>			

発言通告者	議席番号	3 番	氏 名	世 古 雅 人
件名及び 要 旨	○ 鳥羽市職員の職場環境や勤務体制の改善について 市長は、昨今の市職員の勤務意欲や職場環境等に問題意識を持ち、現状を変えたいとの思いも今回の市長選挙の出馬に至った一つの要因と聞いている。 4月21日の市長就任の職員訓示においても現在の総務課「人事係」を「モチベーション係」への発言もされているが、その意図や市長の方針として職員の意識改革や職場環境の改善などをどのように考えているのか、以下の点について問う。 ① 「職員のモチベーションと職場環境」について ② 「職員採用等における人材確保」について <市長及び担当課長>			

発言通告者	議席番号	10番	氏名	木下順一
件名及び 要 旨	○ 市長の市政運営方針と基本姿勢等について 一. 市政運営に対する基本姿勢について ・「変革のスイッチを入れる」の中身と方向性等について聞く。 一. 選挙公約（未来への約束）の実行について ・初年度に取り組む施策と、その実行計画に着手する優先事項は何か。 ・それぞれの項目の中身について目的や目指す方向、また、具体的な数値目標や工程等を聞く。 一. 懸案事項への対応について ・人口減少、空き家対策、公共交通や公共施設の老朽化等の継続課題について、市長として継続・見直し・中止等の判断について聞く。 ・前市政方針の見直し・転換すると判断されたものがあれば、その理由と代替案を聞く。 一. 職員との信頼関係と組織体制について ・職員との信頼関係や庁内体制の整備について、現時点での取り組み状況等を聞く。 一. 議会や各種団体との関係について ・市政の転換期にあたって、議会や各種団体との信頼関係をどのように築いていくのか等を聞く。 <市長及び担当課長>			

発言通告者	議席番号	9 番	氏 名	戸 上 健
件名及び 要 旨	○ 市長の政治姿勢について 新市長として市民の願いにどう応えるのか、以下の基本点について問う。 ① 先の市長選挙で示された民意をどうとらえているか。 ② 政策立案と実行に際して住民代表機関たる議会の「鳥羽市議会基本条例」を尊重する市政運営が不可欠だと考えるがどうか。 ③ 主食のコメをはじめとする物価高が市民の家計を直撃している。暮らしと営業を守るのは市政の喫緊の課題だと考えるが市長の現状認識はどうか。直ちに取り組む具体的政策はなにか。 <市長>			

発言通告者	議席番号	9 番	氏 名	戸 上 健
件名及び 要 旨	○ 積年の課題に対する対応について これまで執行部が答弁し積み残している課題に関し、新市長としてどう対応するのか、以下の諸点について問う。 ① 前中村市長は議会に対し 18 歳までの子ども医療費無料化の枠拡大、窓口での無料化の実施を表明した。新市長として踏襲するのか。 ② 気候危機のもと今夏も猛暑が予測されている。熱中症から市民を守るクーリングシェルターの本市の現状に対する市長認識はどうか。今後の拡充策、新たな市民周知方法をどう指示したか。 ③ 防災上不可欠の学校体育館空調設備はどのような計画で進めるのか。 ④ 戦後 80 年の戦没者追悼式、空襲展、非核平和都市宣言 40 周年への取り組みをどう考えているか。 <市長及び関係課長>			

発言通告者	議席番号	9 番	氏 名	戸 上 健
件名及び 要 旨	○ 「生理の貧困」について 「生理用品を市役所のトイレに」とSNS投稿した共産党三重県議に対し8千件もの殺害予告メールが送られる事件が起きた。怒りの声とともに全国の自治体で公共施設への設置が進んでいる。 そこで以下の諸点について問う。 ① 女性議員が声をあげるとバッシングが起きる昨今の風潮と吉田県議に対す殺害メールへの市長所見はどうか。 ② これまで執行部は学校、公共施設への生理用品について「配備」「支援検討」と答弁してきた。現状はどうなっているか。 ③ 生理用品配備に活用できる国の交付金、補助金メニューはなにか。市として活用をどう検討したか。少なくとも全国並み配備が必要だが市長の指示はどうか。 ④ 内閣府男女共同参画局は毎年、交付金を活用した地方自治体の事例、工夫を公表している。鳥羽市が学び、推進したい事例はどのようなものがあるか。 <市長、教育長及び関係課長>			

発言通告者	議席番号	1 番	氏 名	倉 田 正 義
件名及び 要 旨	○ 鳥羽の未来を担う人財の創出・育成と学校教育について 未来に向かって輝き続ける鳥羽は市民誰もの願いである。今、我々に課されているのは、市民の生活不安となっている様々な課題を解決すること。そして忘れてならないのは、鳥羽の未来を担う人財を創出すること。この二つである。 鳥羽市における人口減少、少子化はますます加速し、昨年度の出生数は42人となった。子育て世代の市外流出も止まらない。このような状況下、先行きに展望を開くためには、鳥羽の未来を担う子どもたちを育成する学校教育、教育行政の役割が大きいと考える。 そこで以下の点について問う。 ① 小中学校における外国語教育について ② 小中学校における海洋教育について ③ 「鳥羽市小中学校統合計画」について ④ 「第3次教育ビジョン」、次期「鳥羽市小中学校統合計画」について ⑤ 今後の学校教育、教育行政について <市長、教育長及び担当課長>			

発言通告者	議席番号	1 2 番	氏 名	尾 崎 幹
件名及び 要 旨	○ 防災ビジョンについて ・「子供たちの将来の為に安全安心な街づくり」を重視した場合、市長の思い描く優先度の高い施策は何か。 ・南海トラフ大地震を想定し、又は20年、30年先を見据えて「スピード感」を重視した場合、今すぐ動かなければならない事は何か。 ・市長選候補公開討論会において空き家問題に関し「防災上、行政代執行も含めて市として強い意志をもって解決したい」との発言だが、「変革のスイッチを入れる」という意味で防災、減災への思いを聞く。 <市長>			

発言通告者	議席番号	1 2 番	氏 名	尾 崎 幹
件名及び 要 旨	○ 消防本部の観点から「予防・減災」について 昨年 1 2 月の私の一般質問での「防災危機管理担当副参事」の答弁において、「空き家対策」「補助幹線道路整備」「防火・準防火地域指定」は防災上、有用であるとの内容であった。 ・あらためて当該内容について聞く。 <市長及び担当課長>			

発言通告者	議席番号	1 2 番	氏 名	尾 崎 幹
件名及び 要 旨	○ 建設課の観点から「予防・減災」について 昨年 1 2 月の私の一般質問での「防災危機管理担当副参事」の答弁において、「空き家対策」「補助幹線道路整備」「防火・準防火地域指定」は防災上、有用であるとの内容であった。 ・あらためて当該内容について聞く。 <市長及び担当課長>			

発言通告者	議席番号	1 2 番	氏 名	尾 崎 幹
件名及び 要 旨	○ 観光商工課の観点から「予防・防災」について ・観光商工課としての視点から予防、減災について問う。 <市長及び担当課長>			

発言通告者	議席番号	6 番	氏 名	南 川 則 之
件名及び 要 旨	○ 市内小・中学校の問題解決と子育て世代の支援策について 令和7年5月1日現在、市内の小学校7校の児童数は579名、中学校4校の生徒数は307名、全児童生徒数は886名である。 日常的に学校では様々な問題が発生し、正しい初期対応をすることが学校問題の未然防止につながると考える。また、乳幼児期から子どもの様子や保護者からの情報を把握し、関係機関が途切れのない連携と支援を行うことにより、小1プロブレムに見舞われない、安定した学校生活が送れると考える。更に、本市では、子育て世代を応援する様々な支援策も急務である。 そこで以下の点について問う。 ① いじめの現状と根絶について ② 不登校の現状と対策について ③ 支援を必要とする児童生徒の現状と対策について ④ 放課後児童クラブの開設について ⑤ 中学生世代の新たな地域クラブの推進について <市長、教育長及び担当課長>			

発言通告者	議席番号	6 番	氏 名	南 川 則 之
件名及び 要 旨	○ 菅島採石について 菅島採石場一帯における土地総有権の確認等請求事件については、平成 29 年 10 月から鳥羽市と菅島町が裁判を続け、裁判は一審の津地方裁判所、二審の名古屋高等裁判所、市が上告及び上告受理の申立をした最高裁へと進められ、司法の最高機関である最高裁の判断において市の上告を棄却した。 行政と町内会が訴訟で対立してきた状況は、市全体のまちづくりにおいても良いことではない。 そこで以下の点について問う。 ① 裁判の経過について ② 裁判対応費用について ③ 採石法の認可に伴う鳥羽市の意見について ④ 今後の市の対応について <市長及び担当課長>			

発言通告者	議席番号	7 番	氏 名	濱 口 正 久
件名及び 要 旨	○ 市営定期船の安全運航について 鳥羽市における労働力の不足が問題となっている。特に鳥羽市の職員、とりわけ市営定期船の船員不足は極めて深刻な状況であり、離島住民の唯一の公共交通機関である定期航路の維持に関わる重要かつ喫緊の課題であると考えます。 また、何よりも安全運航に支障がないように早急の対策を講じる必要があると考え、以下の諸点についてきく。 ① 鳥羽市の船員の現状について ② 船員不足の対策について ③ 船員待遇について ④ 定期船の減船について <市長及び担当課長>			

発言通告者	議席番号	7 番	氏 名	濱 口 正 久
件名及び 要 旨	○ 公有財産を活用した若者及び子育て世帯の定住支援に繋がる住環境の整備について 鳥羽市における少子高齢化は、担い手の不足により地域活動の維持にも影響を及ぼしている。特に子育て世帯の減少は将来の鳥羽市にとって深刻な課題となっており、若者及び子育て世帯の定住を促進し支援策を講じていくことが重要と考える。 そこで、以下の諸点についてきく。 ① 近年の鳥羽市の転入転出の現状について ② 移住相談のタイミングでの相談内容について ③ 子育て世帯が求める住環境の状況について ④ 公有財産を活用した若者及び子育て世帯の定住支援につながる住環境の整備について <市長及び担当課長>			

発言通告者	議席番号	5 番	氏 名	瀬 崎 伸 一
件名及び 要 旨	○ 鳥羽市における諸課題解決に向けた新市長の姿勢について 私は、これまでの 6 年間で、鳥羽市における諸課題を、様々な切り口から質問し、議論してきたが、その際には立場は違うものの、小竹新市長も必ず同席されていた。今回、立場が変わり、執行権を有するトップの立場となられ、鳥羽市の舵取りを最前線で担われる市長に、これまでの一般質問で、私が論点とした諸課題の方向性を改めて問う事で、議論の深化、鳥羽市の発展に向けた取り組みの加速、そして私自身の活動のリ・スタートライン、基本ベースとしたい。また、私自身が委員長職をお預かりしていた行政常任委員会からの提言を受け、文書による回答を戴いた重要論点についても、この際、議論に加えて、以下の諸点を聞く。 ① 鳥羽の子ども達に本物の英語に触れさせる施策の展開について ② 「子は宝」の具現化策としての保育所の再編について ③ 水道事業の永続性を確実に担保する施策について ④ より実効性、有効性のある獣害対策について ⑤ 命に差を置かないための「離島架橋」施策について <市長及び担当課長>			

発言通告者	議席番号	2 番	氏 名	五十嵐 ちひろ
件名及び 要 旨	○ 保育所の主食持参について 鳥羽市の保育所では、3歳児未満には主食が提供される一方で、3歳児以上は家庭からの主食の持参が求められている。全国的に見ると、公立保育園の主食の持参については、自治体によって対応が分かれている状況である。 また、鳥羽市では令和5年度から、保育所での使用済みおむつの家庭への持ち帰りが廃止されたが、未だ、通所の為の持ち物は多く、保護者の負担となっている。 そこで以下の点について問う。 ① 現在の状況について。 ② 保護者や現場で働く職員からはどのような声が届いているか。 ③ 他の自治体の状況はどうか。 ④ 保育所で主食を提供する場合の懸念点や課題は何か。 ⑤ 市長は保育所での主食の持参を廃止するという考えはあるか。 <市長及び担当課長>			

発言通告者	議席番号	2 番	氏 名	五十嵐 ちひろ
件名及び 要 旨	○ 鳥羽市役所における、性別に関わらず活躍できる環境づくりについて 政府が令和 2 年に定めた「第 5 次男女共同参画基本計画」では、「2030 年代には、誰もが性別を意識することなく活躍でき、指導的地位にある人々の性別に偏りが無い社会の実現を目指す」とされており、その通過点として、「2020 年代の可能な限り早期に、指導的地位に占める女性の割合を 30 %程度とする」ことが目標として示されている。 市役所において、多様な人材が市政に参画すること、また組織として公平性が確保されていることは市民の信頼につながり、市政の質の向上にも資する。さらに、行政がロールモデルを示すことで、地域の民間組織にも波及的な効果が期待できる。 そこで以下の点について問う。 ① 政府が定める目標に対し、鳥羽市の達成状況はどうか。 ② 市として定めている目標または方針があるか。その根拠は何か。 ③ 現在の課題をどのように認識しているか。 ④ 現在取り組んでいる、または今後実施を考えている解決策はあるか。 ⑤ 性別に関わらず誰もが活躍できる環境づくりについて、市長の所見を問う。 <市長及び担当課長>			

発言通告者	議席番号	1 1 番	氏 名	坂 倉 広 子
件名及び 要 旨	○ 安心して搾乳できる環境づくりについて 多くの人が利用する施設には、赤ちゃんにミルクをあげることで授乳室の設置は進んでいますが、安心して搾乳できる施設は少ない。 外出先や職場復帰して授乳回数や、搾乳回数が減ることで乳房の張りなどが解消せず、乳腺炎になることもあります。 搾乳の必要がある方が、安心して搾乳できるスペースが少なく、周囲の方々の理解が進んでいないという課題もあります。 そこで、この課題について市の考えを伺います。 ① 市民の皆様への理解と周知、公共施設などで安心して搾乳できる環境づくりについて市の考えを伺います。 ② 本市は、観光地であることから、公共施設だけでなく駅や民間商業施設や企業、大型商業施設など子育て中の方が授乳室で搾乳が可能であることや安心して搾乳できる「赤ちゃんの駅」などの環境づくりの整備について伺います。 <市長及び担当課長>			

発言通告者	議席番号	1 1 番	氏 名	坂 倉 広 子
件名及び 要 旨	○ 公園におけるインクルーシブ遊具の整備について 全国の自治体において、障がいの有無や年齢、性別、国籍などを問わず、視覚や聴覚・触覚を使って楽しめる遊具を取り入れるなど誰でも楽しめるインクルーシブ公園が増えています。 そこで、以下のことをお伺いいたします。 ① 公園へのインクルーシブ遊具の導入に対する考え方について <市長及び担当課長>			

発言通告者	議席番号	1 1 番	氏 名	坂 倉 広 子
件名及び 要 旨	○ 学校を取り巻く教育環境の多様化について 第2次鳥羽市教育ビジョンではその基本理念として、「多様な社会を生き抜く、知性・感性・理性にあふれた健康な市民の育成」を目標とし、学校・園・家庭・地域のさらなる連携のもと、未知の課題へ直面する子どもたちに育むべき力を明確にし、取り組みを進めると謳われています。 また、郷土学習を通して、主体的に探究してまとめる力・対話を通して学びを深める力・プレゼンテーションの力を伸ばしながら、郷土愛を育むとあります。 郷土学習をはじめとする、探求学習においてはタブレット端末の活用が有効と考えます。 そこで、以下のことをお伺いいたします。 ① 探求学習について ② GIGA スクール構想でのタブレット端末の更新について <市長及び担当課長>			